

風水害対策タイムライン【基本型】

製造所

平時からの事前の備え

ハザードマップを参照し、浸水想定区域や土砂災害警戒区域、浸水高さ等を確認しておく。

プルダウンリストから施設を選択

【災害リスクの確認】

- 該当区域 浸水 (浸水高 3 m)
- 該当する場合チェックを入れる 土砂
- 事業所所在地での過去10年間の風水害被害 有 → 無

〈避難先〉
○○○○会社

内容
車両の水没・施設が浸水(床上10cm)

製造所
屋内貯蔵所
屋外タンク貯蔵所
屋内タンク貯蔵所
地下タンク貯蔵所
簡易タンク貯蔵所
移動タンク貯蔵所
屋外貯蔵所

【対策の準備】

- 浸水・高潮対策 → 土のう・止水板・オイルフェンス・油吸着材・移動タンク貯蔵所を安全な場所に避難(○○○○会社、○○市○○1-1)
- 土砂対策 → 土のう・止水板・油吸着材
- 強風対策 → 飛散が予想される物の把握・巡視ルートの確認
- 停電対策 → 非常用発電機・燃料の確保・懐中電灯

【訓練等の実施】

- 訓練 → 災害対策活動に必要な時間を訓練及びシミュレーションすることにより確認する。
- 関係機関と連携 → 緊急事態発生時の連絡先の把握及び情報共有体制について確認する。
河川等へ危険物等の流出が考えられる場合は、河川管理者の連絡先についても把握する。

風水害の危険性が高まってきた場合の応急対策

警戒レベル	避難情報	警戒レベル相当	災害対策活動開始のチェックポイント
1	-	早期注意情報	A*気象庁や地方公共団体等が発表する防災情報を注視し、予想される降雨量、風速、河川の水位、土砂災害危険性等の確認、避難先や避難経路の確認等を行う。 プルダウンリストから対策を選択 ※プルダウンリストの内容は、作成用EXCELのシートが「施設別チェックポイント一覧」から確認できます。
2	-	大雨水注意情報 氾濫注意情報	B*従業者等の避難安全を確保すること
3	高齢者等避難	大雨水警戒情報 氾濫警戒情報	N*飛来物により配管等が破損した場合における危険物の流出を最小限とするため、配管の弁等を閉鎖する。
4	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 高潮警戒情報	
危険物流出防止対策			G*浸水等に伴い、河川や海洋へ危険物が流出した場合には、水質汚濁防止連絡協議会等の関係行政機関へ速やかに通報・連絡し、連携して応急対策を実施する。 F*危険物の流出を確認した場合は、油吸着材等により速やかに回収する。

警戒レベルに応じた応急対策 及び 危険物流出防止対策を選定

※施設区分に応じた応急対策内容がプルダウンリストに反映されるため、
まず施設区分を選択すること。

【警戒レベル5】 大雨特別警報 氾濫発生情報

緊急安全確保

【すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。】

- 点検を行い、必要な補修を施した後で再稼働を行う(特に浸水した施設では、作動状況や気密性等を確認)。
- 電力復旧時の通電火災や漏電の防止のため、施設内の電気設備や配線の健全性を確認する。

	危険物流出河川	河川管理者
緊急事態発生 危険物の流出や火災が発生したときの関係機関	国が管理する河川 【鈴鹿川】	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 鈴鹿川出張所 Tel.059-345-5593
	三重県が管理する河川 【金沢川・中ノ川・堀切川 ※一部指定区間は鈴鹿市が管理】	三重県鈴鹿建設事務所 Tel.059-382-8691
	鈴鹿市が管理する河川【その他小河川・用水路】	鈴鹿市土木部河川雨水対策課 Tel.059-382-7614
	鈴鹿市消防本部 119	

※作成用EXCELのシートに「防災情報」の記載もあります。そちらも併せて印刷可能です。